

令和3年度第1回佐倉市行政評価懇話会 要録

日時	令和3年8月4日(金) 13時30分～15時10分	場所	オンライン (ZOOM)
出席者	委員出席者 7名 [委員長]小川 真実、[副委員長]栗田 智 [委員]飯塚 香奈子、稲垣 かおる、泉水宏之、立崎 貴子、藤本 健太郎(五十音順)		
	事務局	(企画政策課) 上野課長、大久保副主幹、松本主査	
	その他	傍聴0名	
議事	(1) 令和3年度の懇話会スケジュール (2) 令和2年度における各基本施策の進捗状況について (3) 重点目標評価の進め方について		
概要	◆ 今年度の懇話会について全4回開催するものとし、第2回は10月29日(金)に開催予定とした。 ◆ 「第5次佐倉市総合計画前期基本計画」の令和2年度における各基本施策の進捗状況について、全体的な傾向の確認を行った。 ◆ 今年度の懇話会において重点的に評価を行う「第5次佐倉市総合計画前期基本計画の重点目標3に掲げられた基本施策」(子育て支援、学校教育、商工業振興、農業振興、住宅・住環境、情報発信等)について、今後の担当課質疑における質問事項等の審議を行った。		
内 容			
◆議事 (1) 令和3年度の懇話会スケジュール (事務局) [資料2により、「令和3年度の懇話会スケジュール」について、第2回・第3回は重点目標3に係る基本施策の担当課質疑を行うこと、全4回の懇話会を経て、年度末に懇話会の「提言書」として取りまとめることを説明。また、第2回懇話会について、10/29(金)午後を候補としている旨を説明] (委員長) 第2回懇話会について、10/29(金)午後を予定日とすることとして、よろしいか。 [各委員、承諾] (2) 令和2年度における各基本施策の進捗状況について (事務局) [資料3により「第5次佐倉市総合計画前期基本計画」の令和2年度における各基本施策の進捗状況について、内部評価を行った内容を説明。30の基本施策のうち25施策が評価B以上で概ね順調に進捗しており、成果指標については76指標中34指標が目標達成。一方、初期値以下となった指標も多く24指標(31.6%)あり、その多くは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものだったことを説明] (委員長) 成果指標について初期値以下となったものも多く、評価B以上が多いのは違和感がある。コロナの影響で実績が伸びなかったことは仕方がないことなので、それを反映させた評価とすべきように思う。 (事務局) 評価の判定に当たっては、成果指標の達成率のほか、施策内の様々な事業の内容を含め総合的に判定することとしている。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 (委員) 資料3について、各施策の成果指標が何であるか、どの指標の達成率が良くなかったのか示されていないため、記載すべきと思う。 (事務局) 今後は、そうさせていただきます。			

(3) 重点目標評価の進め方について

(事務局)

[資料4～6により、今後の懇話会において「第5次佐倉市総合計画前期基本計画の重点目標3に掲げられた基本施策」(子育て支援、学校教育、商工業振興、農業振興、住宅・住環境、情報発信等)の担当課質疑を行うこと、その際の質問事項等について審議の上決定いただきたいことを説明]

(委員長) 7つの基本施策ごとに、質問事項をまとめさせていただく。まず「子育て支援」については、いかがか。

(委員) このところ周囲でアフガニスタンなどの外国人の世帯がかなり増えてきており、子育て支援や学校教育において、外国人の世帯も日本人の世帯と同じように支援を受けられているのか、聞いてみたい。

(委員長) 子どもの保育園で外国籍の保護者との交流があり、私も聞いてみたい。

また、私の方から聞いてみたいこととして、一口に子育て支援と言っても、妊娠から始まって新生児の段階、保育園・幼稚園等の就学前の段階、小学校、中学校の段階など、年代ごとのステージがあり、医療費助成や保育園の減免等の制度を設けていると思うが、そのステージごとに、佐倉市に特化しているといえるような子育て支援の取組みはあるのか聞いてみたい。新型コロナ関係の国の予算について執行ができなかった額が30兆円に上ったと聞いている。執行できなかった理由は色々であろうが、それであるならば、ひとり親世帯や子育て世代への給付金とした方が効果は上がったのではないかという感もある。佐倉市の子育て支援として特徴的な取組みがあれば聞いてみたい。

また、2点目として、新型コロナの関係で、子どもの通っている保育園で濃厚接触者が出て一定期間閉園しようかという話が出て、仕事を休んで自宅で保育をする必要があり、休みを取りやすい職業の人もいるが休めない人も多いであろう、という状況を経験した。佐倉市では、保育園や幼稚園の先生などに優先的にワクチン接種を行うなどの取組みはあったのか、聞いてみたい。

(事務局) 2点目のワクチン接種の関係だが、佐倉市では保育従事者のワクチン接種は先行して進めており、既に完了している。学校関係者も同様に先行して進めている。

(委員長) いい取組みであるので、そういう内容が評価シートに記載があると良いと思う。学童保育所はいかがか。

(事務局) 学童関係者についても、優先接種を行った。また、ワクチン予定者がキャンセルとなった際にワクチンが無駄にならないように、事前登録による「もったいないバンク」を開始している。

(委員長) 素晴らしい取組みかと思う。他の委員は、ほかにはいかがか？

(委員) 先ほど意見があった「外国人の子どもへのサポート」について、子どもの学校では取組みがあまり感じられなかったため、私も聞いてみたい。また、これは学校教育の分野だと思うが、「学習状況調査の平均正答率」の指標について、正答率が低かった学校に対して、どのような対応をしているのか聞いてみたい。子どもの学校では1クラス30人に対して担任の先生1人であるが、隣の学校では1クラス16人と聞き、低学年の間では対応にやはり差が出るのではないかと思う。教員を増員したり、補助職員を入れるなどの対応があるのか、聞いてみたい。

(委員長) これらの質問については、次回以降、担当課に質問することになるのか。

(事務局) 事前に質問を担当課に伝えた上で、次回以降に質疑を行うことになる。また、補足だが、担当課質疑において委員から出された意見や提案については、来年度以降において、その内容への対応状況を確認しフィードバックを行っていくことになる。

(委員長) なるほど。子育て支援の評価シートの「内部評価における意見等」の記載で、「保護者の勤務スタイルの多様化により、保育園等における預かりの多様なニーズが生まれてきており、一時預かりをより簡単に利用できるような仕組みの検討が必要ではないか」とあるが、これについては委員の皆様から意見はあるか。

[各委員、意見なし]

(委員長) 取り組んだ方がいいものとは思う。

それでは、「学校教育」の分野では他の委員はいかがか。

(委員) 指標にもある「佐倉学の推進」について聞きたい。佐倉市は歴史・文化に豊富な資源があり、

広く一般市民や市外の方に知ってもらうための取組みは大事だと思う。佐倉学の授業は小・中学校中心だと思われるが、高校生に対しても取組みを行っているか聞いてみたい。地方創生の観点でも、高校生が将来的に佐倉市へ残る、又は戻ってくるために、佐倉について学び知ってもらう、ということは重要であり、中学生にとどめるにはもったいないと思うので、聞いてみたい。

(委員) 高校生は、施設を実際に訪れたりなどの動的な学習をすることで、学んでいけるものだと思う。市内の国立歴史民俗博物館についても、若い人がもっと見学に訪れやすいよう、市と連携して入場料を安くするなど、変えていく必要がある。そのためには、京成佐倉駅から歴博までの道の整備も重要。

(委員長) 道路の整備の話が出たが、八街市で通学路事故の事件があり、通学路についての対応を聞いてみたい。

(事務局) 通学路についてだが、今日明日で市や県、学校関係者、警察などの機関の合同により、通学路の危険箇所の緊急点検を行うとのことで、その結果などについて次回の懇話会の際に質疑いただきたい。

(委員長) また、教育の分野でオンライン教育が始まっているが、効果があまり発揮できていないような気がするため、その内容について聞いてみたい。

続いて、「商工業振興」の分野では、いかがか。

(委員) 起業について、「起業塾」を開催したり、起業をしたい方の相談対応など、様々なバックアップを行っていることは存じているが、起業したその後については追跡できているのか、聞いてみたい。近所で開店したが早いうちに店を閉じられた例があり、起業塾に入られて佐倉で夢をもって開店されたと聞いていたので、色々な事情はあるのかと思うが、気にかかった。起業までのバックアップと同様に、起業されてからのバックアップ体制はあるのか、お尋ねしたい。

(委員長) 今回当初は予定をしていたスマートオフィスの見学においても、同様の話を聞けるものと考えていたので、私も聞いてみたい。

(委員) 商工会議所では、そういう相談は多数きていた。積極的にそういう相談の場に出向く必要がある。定着していくためには、商売の内容もそうだが、地元での仲間づくりをする必要がある。市と商工会議所がどう連携するかということもあるが。

(委員長) 千葉市では、児童・生徒対象の起業塾などを行っている。起業塾の内容も、製造業やサービス業だけでなくITやデジタルなど現代的なものも対象としているのか気になる。資料の中で「市内の工業団地は既に埋まっており、事業用地が不足」との記載があるが、そう感じられるところはあるか。

(委員) やはりそうだと思う。空いたところに新しいところがスペース的にうまく入るか、という問題もあり、不足していると思われる。デジタル分野では起業のときに大きい場所はいらないが。

(委員長) スマートオフィスは卒業して東京へ出ていく事業者が多いような気がしている。そこで起業をした方が佐倉市に残ってくれるための方策があるのかののかも担当課に聞いてみたい。また、前々回の懇話会で話に出たが、成田空港の第3滑走路の開通が見込まれているが、それに対して佐倉市の方で乗っかるようなアイデアは出てきているのか。

(委員) 佐倉市ではあまり聞かない気がする。成田市はすごいが。

(委員長) 近隣の自治体ではやっきになっているが、佐倉市はのんびりしている感がある。それについても聞いてみたい。

(委員) 私も新たな企業誘致の動向について聞いてみたい。工業団地は既に飽和状態であることを実感している。佐倉インター近くの高崎地区などは開発が進んでいるが、可能性があるように思う。また、起業塾についても、地元の銀行として、連携を図れば良いと思う。

(委員長) 続いて、「農業振興」の分野はいかがか。

(委員) 農産物の直売所について農協がだいぶ力を入れて盛んになってきており、観光的にも価値があるものの生産も増えてきている。チューリップ祭りのおかげでチューリップも有名になってきており、佐倉市がふるさと広場回りの土地を購入するという話を聞いたが、いかがか。

(事務局) まだ計画を策定している段階だが、観光拠点として整備する方向性にはなっている。

(委員長) 農業従事者の方にインターネットを通じた情報発信の方法の支援などを行っているのか聞いて

てみたい。評価シートを見ると「マーケティング力を高めたチャレンジする人が活躍できる環境を整備する」ということだが、マーケティング力よりも情報発信力だと思う。Youtube を見るとなかなか面白く、80 歳近くの方が独自の肥料の作り方を公開したりしている。発信していかないと、日本の農業は取り残される感がある。農政課の方で、認定農業者などを増やすだけでなく、実践力を育てる取り組みをしているのか、聞いてみたい。他は、いかがか。

〔各委員、意見なし〕

（委員長）続いて、「住宅・住環境」の分野はいかがか。佐倉市は広い庭付きの戸建てを持てるイメージをもっているが、評価シートを見ると空家バンクや相談などの話が多い。

（委員）私は南部地区に住んでおり、昔は本当に山と田んぼというエリアだったが、自動車関係の倉庫や会社などが建ち、そのそばに住まいがポツポツと作られ、中には昔からの農家の家をリフォームした住まいなどもある。今、千葉寄りの開発と、四街道からの 51 号線沿いがきれいになってきたので、その 2 つの開発がつながっていくのではないかと思う。佐倉市は一番歴史があり、昔はお城があったところであるし、高速インターもすぐそばにあり、立地条件は本来良いはずだと思う。アイデアのある人にどんどん住んでいただきたい。

（委員長）郊外の田舎暮らしを楽しむという施策と、JR 佐倉駅や京成沿いを中心とした都市型の暮らしの両方を支援していく考えで良いのか聞いてみたい。あと、51 号沿いについて。住宅・住環境というだけでなく、都市基盤ということだと思う。51 号の新しい道はいつも渋滞しており、あの辺りの渋滞緩和策などもあっていいと思う。

（委員）51 号周りは、神門の道が整備されて通りやすくなり、インターのすぐそばに入る道もできるので今後違ってくると思うが、要所要所でストップするところもまだ多い。

（委員長）円滑な交通の流れも広い意味で住環境ということであれば、聞いてみたい。また、道路付近に生えている雑草によって、車で走ると怖いところがある。大学の近くにも信号機のそばで草がボウボウと生えており、ふいに人が出てきてヒヤッとすることがある。住宅課が担当ではないと思うが、都市基盤という観点でそのようなことも聞いてみたい。

（委員長）では、次の「環境保全」の分野はいかがか。評価シートでは、生活排水処理率やごみ排出量などが指標となっている。

〔各委員、意見なし〕

（委員長）こちらについては、公害とか不法投棄の件数が減ってくることがもちろん望ましいと思うので、引き続き取り組んでいただきたい。また、SDGs について、企業全般が求められており、その啓発強化について生活環境課や廃棄物対策課の取り組みを聞いてみたい。

（委員長）続いて「情報発信・共有、広聴」はいかがか。指標では「ホームページアクセス件数」「市民の声が市政に反映されていると思う市民の割合」ということで、広く情報発信の分野となるかと思う。

〔各委員、意見なし〕

（委員長）では私の方から、情報発信についてだが、3 年位前に大雨で国道が冠水したことがあったと思うが、あの辺りがそうなることは地元の人は知っていたのか。

（委員）よく冠水するエリアで、地元の人は知っていたと思う。

（委員長）地元の人は知っていると思うが、そういった緊急の情報についてどのように発信しているのか気になる。また、千葉県熊谷知事が千葉市長時代に Twitter をやられていて、頻りに市民の方との交流を行っていた。同じことが必要とまでは言わないが、そういった情報発信についてどのように取り組んでいるのか。若い職員はいると思うので、歴史だけでなく佐倉の魅力を近未来へ向けて情報発信するような取り組みはしているのか聞いてみたい。スマートモバイルを持つ人にタイムリーな情報発信がなされるようにしてほしい。もちろん、モバイルを持たない方へのアナログな情報も必要だが、これらも含め、情報発信の基本戦略についてうかがいたい。

（委員長）以上で、評価対象について質問したい事項が、大体出たと思う。事務局の方で今日意見が出た内容で質問事項をまとめていただき、次回以降、担当課質疑を行いたいと思う。よろしいか。

〔各委員、承諾〕

(委員長) そのほか、全体を通して、委員の皆様から何かご意見はあるか。

[各委員、意見なし]

(委員長)

それでは、本日の議事はこれで終了する。

(以上)